

野鳥を詠む 俳句を募集します

四季折々、日本の自然の中でたくましく生息する野鳥たち。春を告げるウグイスのさえずり、子育てをするために毎年軒先にやってくるツバメ、凍えるような寒さの中でも写真家を魅了するタンチョウのディスプレイ…。その野鳥たちと情景をとらえ、言葉に映しとる俳句を、あなたも詠んでみませんか？

『私たちの自然』では、2025年11・12月号に向けて「野鳥」を題材にした俳句を募集します。詠まれている季節は問いません。また、必ずしも野鳥の名前を入れる必要はありません。俳句に詠まれる鳥の生態をとらえていたり、そこにその鳥がいると感じさせる臨場感があったりと、野鳥を楽しむ情景が浮かび上がる俳句をお待ちして

います（ニワトリやインコなどの家禽や飼っている鳥は対象外）。

選者は日本伝統俳句協会常務理事の田丸千種氏です。当連盟は取り上げられた野鳥について審査します。入選作品のうち、最優秀賞1句と優秀賞10句を選出し、『私たちの自然』の2025年11・12月号特集で、選評とともに掲載します。選ばれた方にはささやかながら景品もご用意しております（内容は現在調整中）。

野鳥を観察するだけでなく、野鳥が生息する情景を詠むことでその魅力をさらに深く味わうことができます。今回の俳句募集は、そんな新たな楽しみ方をご紹介します試みでもあります。みなさまのご応募を、心よりお待ちしております。

【募集要項】

- 募集期間：2025年7月1日（火）～9月19日（金）必着
 - 募集テーマ：「野鳥」※ 応募作品は未発表の句に限ります
 - 応募資格：どなたでもご応募いただけます（お一人につき3句まで）
 - 結果発表：『私たちの自然 2025年11・12月号』にて発表
 - 応募方法：
 - 郵送の場合：原稿用紙またはA4用紙などに、俳句、俳号（発表時に俳号で公開されます。本名は非公開）、お名前、お電話番号、メールアドレス、ご住所、年齢をご記入下さい。
〒166-0012 東京都杉並区和田 3-54-5 第10 田中ビル 3F
日本鳥類保護連盟「俳句係」宛
 - Web 投稿の場合：投句フォーム（Google フォーム）に必要事項を記入して送信して下さい。
- ◇投句フォーム：<https://forms.gle/pj4VR7GsYpe3DuVF8>



著作権について：入選作品の著作権は日本鳥類保護連盟および著作者に帰属します
入選外の作品の著作権は著作者に帰属します。※ 選考に関するお問い合わせはご遠慮ください